

特集 人の魅力が地域の魅力

湯来・戸山が好きなんです



市内の中山間地域の一つである佐伯区湯来地域と安佐南区戸山地域(沼田町阿戸、吉山)。ここには人口減少などの問題と向き合いながら、地域活性化のために尽力する地域の皆さんがいます。今回は、そんな皆さんに湯来・戸山への熱い思いとその魅力について教えてもらいました。湯来については佐伯区地域起こし推進課(☎943-9705、☎943-9718)、戸山については安佐南区地域起こし推進課(☎831-4926、☎877-2299)

湯来 **湯来町観光協会会長・国沢紀代子さん(80)**
湯来のさまざまな魅力を知り尽くしており、観光協会会長として、市内外へ湯来の魅力を発信しています。会長を務めながら、観光ガイドとしても活動中です。

冬は温泉とぼたん鍋で心身ともに温めて

湯来で暮らし始めて60年、観光協会会長という役目をいただいて、3年になります。湯来の魅力は語り尽くせないほどありますが、冬の楽しみ方で言うと、やはり温泉とぼたん鍋でしょうか。ぼたん鍋って何？と、若い人は思うかもしれませんが(笑)。今どきの言葉で言えばジビエ。新鮮なイノシシ肉を、町内のさまざまな飲食店で楽しむことができます。湯来の森林で育ったイノシシ肉

は、色鮮やかで旨味が多いのが特徴。ほら、写真を見るだけで食欲がそられませんか？ 紹介しているうちに、私も食べたくなりました。泉質が良く、健康維持のために地元の人にも通い詰めるほど人気の温泉で雪景色を眺め、ぼたん鍋で体を温める。湯来ならではのぜいたくなひとときを、ぜひ堪能ください。コロナ禍で観光客が減る中、少しでも湯来が元気になるようにと、湯来への来訪促進キャンペーンを実施しています。皆さんも来てみんさい、湯来へ！



湯来 **砂谷株式会社副社長・久保宏輔さん(37)**
東京で9年間の会社員生活を経て湯来へ帰郷。牛乳や乳製品のブランド化を推進しています。また、牧場でさまざまな体験ができる「久保アグリファーム」をプロデュースしています。

食を味わい、感じ、そして学ぶ

久保アグリファームでは、牛舎や放牧地で牛を間近で見ることが出来ます。牧場や牛を見てもらうことで、普段いただく「食」や「命」の大切さについて、考えるきっかけになればと思っています。単に、おいしいものが食べられるだけでなく、「食べる」という行為を大切にしている価値観を育む場として、「広島に牧場があって良かった」と皆さんに思ってもらえるような場所にしていきたいですね。そんな久保アグリファームの一押しは、新鮮な牛乳で作った

濃厚なジェラートやヨーグルト。牛乳の製造は超高温殺菌が用いられることが多いですが、うちでは低温殺菌で作っています。こうすることで、牛乳本来の風味をしっかりと残すことができるんです。湯来を訪れた際には食べに来て欲しいですね。



湯来 **湯来交流体験センターセンター長・佐藤亮太さん(35)**
愛知県出身。温泉が大好きで、湯来を訪れた際に温泉と自然に魅了され、移住。自然を生かしたさまざまなイベントを展開し、地域に活気を生み出しています。

人生が変わるような体験ができる湯来

湯来に移住してきて7年、今私は、大自然に囲まれた湯来交流体験センターでセンター長をしています。湯来の魅力…私の場合、どうしても温泉を語りたくなってしまいましたが(笑)、それは別の方にお譲りして、やはり清流・水内川や大塚山などの大自然を挙げたいですね。湯来交流体験センターには、そんな自然をいっぱい活用した体験プログラムがあります。

自然を相手にしていると、さまざまな場面で「自分に挑戦する機会」と遭遇します。仲間と一緒に助け合って困難を乗り越えたり、怖い思いをしたり。新しい自分に出会ったり、人生観が変わったり。自然の中には、ただ楽しいだけでなく、体験者にとって何かプラスになるような、そんな力があり、体験プログラムはそれを生かした作りになっています。このプログラムは、地元の人と話す場面を作ることも大切にしており、湯来にまつわる話が聞けるなど、地域の人と交流できる点も魅力です。自然って素晴らしいぞ！



湯来 **農家・宮崎光太さん(32)**
静岡県出身。「ひろしま活力農業」経営者育成事業を機に湯来へ定住。現在はハウレンソウの安定した供給を目指し、若き農家として日々奮闘中。

ハウレンソウで食卓を笑顔に

農業経営者として地域に定住することを旨とする「ひろしま活力農業」経営者育成事業を活用し、今年4月から湯来で農業をしています。湯来への人は皆さん温かく、先輩農家の方々がアドバイスをくれるなど、非常に恵まれた環境にいます。同事業の約2年間に及ぶ研修を経て、現在はハウレンソウの安定した供給を目指し、試行錯誤の日々。湯来は酪農なども盛んなので、そのたい肥をうまく活

用し、丁寧な土作りに取り組んでいます。産直市に出荷した際には、地域の皆さんに声を掛けてもらうこともあり、励みになっています。早く皆さんの食卓に苦みの少ないおいしいハウレンソウを届けたいですね。



戸山 **イベントス EVENTOS代表取締役・川中英章さん(59)**
農村活性化コーディネーターとして戸山地域吉山を訪れたのがきっかけで、農産物生産活動から飲食事業まで幅広く手掛けるように。生き方の選択肢が多い戸山づくりに取り組んでいます。

「食」を通して地域を笑顔に

戸山地域吉山は、住む人の人柄もよく、訪問してみてもすぐに魅力的な地域だと感じました。私は今、その吉山で飲食店などを経営し、食を通して地域活性化に取り組んでいます。地産にこだわり、おいしい料理を作るのはもちろん、大学生などに「吉山で働くこと」の魅力のアピールし、戸山で暮らす価値に気付いてもらえれば良いと思っています。また、戸山地域の農家さんが元気に生活ができる張り合いづくりのため、

2016年から産直市を始めました。農家さんが持ち込む野菜を全て買い取っており、願わくば、戸山を元気な中山間地域に発展させたいと念じています。田舎生活を考えた時、一番の課題は暮らし方と経済的安定です。その課題を「仕事づくり」を通して解決し、心豊かな地域創りの一助になればと思っています。



戸山 **戸山の森のようちえん おてんとさん 園長・今田典子さん(42)**
保育士を経て、2010年に戸山の自然環境を活用した保育・幼児教育を展開。自主性を尊重し、一人一人の成長のタイミングを大切にしながら活動しています。

自然の中で伸び伸びと子育て

便利すぎる世の中では身に付きにくい「生きる力」を、戸山で育った人は持っています。私は子どもたちにもそういった力を育てたいと思っています、この地に当園を設立しました。大切にしていることは、「子どもたちが自分で考える、判断して行動すること。その力を伸ばすため、当園ではできる限り子どもの主体性を尊重し、私たち大人はあくまで見守る立場に徹しています。戸山は、四季を感じながら自然の中で伸び伸びと過ごせる場所。そんな環境で子どもを育てたいと考えている人にはとても魅力的な地域だと思います。

当園では、園児たちと一緒に森で遊ぶ「お散歩会」を定期的に開催しています。ぜひお父さんと戸山の森で過ごして来てください。散歩道を取りまく大自然の魅力に引き込まれること、まちがいない！です。



戸山 **やませみ舎舎長・小西晃紘さん(40)**
33歳で、戸山にUターン後、やませみ舎で田舎体験や定住促進事業に取り組み、地域外の人へ戸山の魅力を発信しています。

戸山が好きになる田舎体験

戸山生まれの戸山育ち。一度は外に出ましたが、出てみると戸山の良さがしみじみと分かり、一念発起して妻子と共にUターンしました。人情厚く、自然に囲まれた戸山ですが、現在人口減少、少子化が進み、児童・生徒数がどんどん減り続けています。そこで「学校を残す=地域を残す」という考えのもと、田舎体験を通して地域の魅力を発信。戸山へ移住したい人を発掘・支援する活動を始めました。やませみ舎では、田植えやクリスマスリース作り、餅つき、味噌作りなど季節に応じてさまざまなイベントを開催しています。こうしたイベントを通じて戸山を好きになってもら

い、移住希望者には空き地などを紹介して、「定住促進」につなげています。最近では、移住希望者が増えても、住む場所が見つからないという課題も出てきました。空き家や空き地を生かすためには、所有者や地域の皆さんのご理解とご協力が必要です。地域外への発信に加え、今後は地域との連携を大切に、戸山のさらなる活性化に貢献していきたいです。



戸山 **ストラトバーガー&グリル店主・鈴木貴弘さん(39)**
やませみ舎協力のもと、戸山にハンバーガー店を出店。おしゃれな上、美味で食べ応え抜群だと、さまざまな世代に愛される人気スポットになっています。

戸山名物、健康バーガー

やませみ舎に土地を紹介してもらい、昨年、念願かなって戸山で出店することができました。この地で出店を考えたのは、このロケーションで食べたらさぞおいしいだろうなと想像できたから。山や小川といった自然の中で、心ゆくまで食事を楽しんで欲しいという思いがあります。ハンバーガーというジャンクフードの印象が強いかもしれませんが、私たちのコンセプトは「おいしく健康に」。戸山や東広島島の農家から無農薬の野菜を仕入れ、パン、ソース、パー

コン、ピクルスといったものは全て手作りで提供しています。季節に応じて、取れたてのイチジクや新玉ねぎを使用したハンバーガーなども開発しました。最近では市内外からドライブがてらお店に寄ってくれる人が多いので、このお店が戸山の魅力を知ってもらおう一つのきっかけになってくれたらと思っています。



戸山 **阿刀神楽団団長・浜広直樹さん(41)**
阿刀神楽団の団長を務めながら、地元小学校などで神楽の授業をするなど、戸山地域で神楽の普及活動を行っています。

見応え十分、迫力満点の神楽をご覧あれ

阿刀神楽は、12の演目で構成される十二神祇系。神楽に柔術の型が取り入れられており、他に比べて動きに迫力があるのが特徴です。お薦めは「將軍の舞」と「八つ花の舞」。迫力満点で、見応えも十分です。県の無形民俗文化財にも指定された阿刀神楽ですが、地域の人口減少とともに後継者不足に直面しています。そのため、今年から小学校での神楽授業など、神楽の普及活動を始めました。

